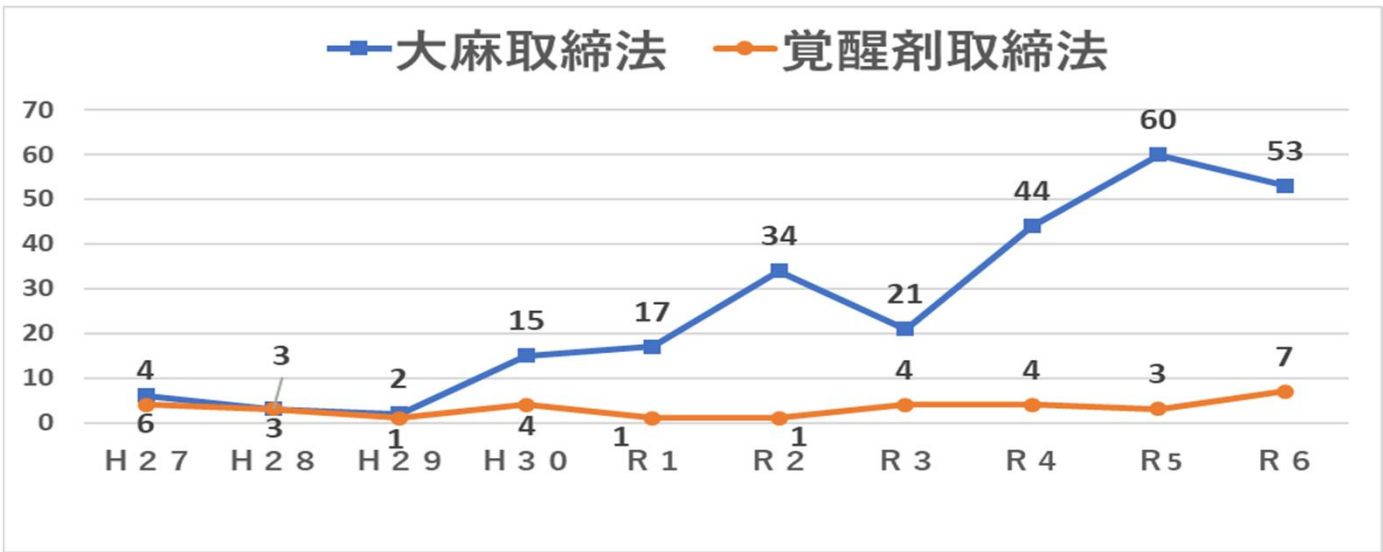


少年の薬物事犯の現状（北海道）

1 少年の薬物事犯の検挙・補導人員の推移

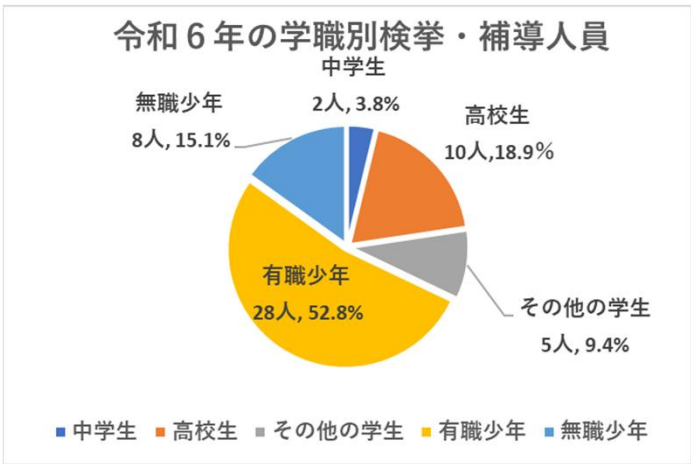
	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
大麻取締法	6	3	2	15	17	34	21	44	60	53
覚醒剤取締法	4	3	1	4	1	1	4	4	3	7
麻薬等取締法	0	0	0	0	0	1	1	0	5	6
毒劇物取締法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	6	3	19	18	36	26	48	68	66



令和6年中における少年の薬物事犯のうち、大麻取締法で検挙・補導された少年は53人で、全体の約8割を占めています。

2 大麻取締法の学職別検挙・補導人員の推移と割合

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
中学生	1	0	0	0	0	0	0	2	4	2
高校生	0	0	1	1	1	4	2	6	9	10
その他の学生	0	0	0	3	1	3	2	1	7	5
有職少年	1	1	1	5	14	19	10	28	32	28
無職少年	4	2	0	6	1	8	7	7	8	8
合計	6	3	2	15	17	34	21	44	60	53



令和6年の少年の大麻取締法による検挙・補導人員を学職別に見ると、有職少年が一番多く、次いで高校生、無職少年となっています。